

YASUDA SANGYO GROUP NEWS



2020
09
24

REIWA 2.
September

日刊 産業新聞

Japan Metal Bulletin

大剛

京丹波に新工場開設

ペレット型製鋼用
アルミ脱酸剤 月産能力1000トン

オープンした新工場

資源総合サイクル
大手・安田産業グルー
プ（総経理本部）京
都市役員、安田春幸
社長が、ペレット型製
鋼用アルミ脱酸剤の国
内最大手・大剛（本社
京都府八幡市）はこ
のほど、京都府船井郡
京丹波町に新工場（天
剛 下山テクノパ
ーク）を開業した。長岡
京工場に次ぐ拠点
目、次世代を担う工場
として製鋼現場の熱対
策や防し、設備の作
業効率や安全・メンテ
ナンス性を重視し
た。生産能力は月10
00トン以上を有し、全
社では従来比50%増の
3000トン以上とな
る。投資額は1億の取
得費用も含めて9
億円。

新工場の所在地は京
都市の北西、福知山市
との中間にある京丹
波町。京丹波町は、
府船井郡京丹波町下
山テクノパーク（下
山テクノパーク）内
にあり、市内から車
で1時間、京新幹
線自動車道・丹波
インターから10分
の距離にある。敷
地は、2区画1方
平方メートル取得し、
うち1区画を建設し、
事務所と製造棟（1
階）を形成する。

造粒機などで構成す
る。そのほか、油圧シ
リンダー、油圧ポンプ
3台、60tスケールを
有する。

製造設備は、労働環
境を改善するため夏場
に熱気にならないよ
う屋根の中央部を高く
し、換気扇も多く設置
している。開閉機や造
粒機が排出されるダ
ストは、湿式・乾式の集
塵機を通し、場内や外
部に漏れないよう万全
を期する。

同社は、2002年
にペレット型の製鋼用
アルミ脱酸剤の製造に
参入し、長岡京工場京
丹波工場（京丹波）に
インフラを整え、さら
に2018年に、京丹波
工場にインフラを整え
る。直近までインフラ
の月産能力は1000ト
ン以上を有していた。
また、近年は設備が
堅調に推移する中、設
備の老朽化で故障や不
具合が相次ぎ、さらに
作業の安全確保やメン
テナンス性を課題が
浮き彫りとなってい
た。2ラインのうち1
ラインを刷新すること
も検討したが、既存の
ラインだけでは安定供
給に不安があったた
め、新工場の建設に
計画を進めていた。
当面は長岡京工場
と京丹波工場の計
3ラインで操業する
が、増設余地が十分あ
る。将来的には長岡
京の機能をさらに
強化することにも視野に
入れる。安田春幸社長
は、製鋼工程で溶鋼が
酸化を取り除く添加
剤で、主として伸び
のある特殊鋼を製造す
る際に使用される。ア
ルミスクラップを原料
と、形状別にペレッ
トやフリケット、溶解
品などがある。

産経新聞様の一面に 下山テクノパークの 記事を掲載して 頂きました。

9/16の産業新聞様の一面に、先月より稼働しており
ます、弊社グループ会社、株式会社大剛の「下山
テクノパーク」についての記事が掲載されました!!
記事内では施設内で行う処理工程や、グループ内
の取組についてご紹介いただいております。
是非!ご一読ください!!

